



善の経営

令和7年7月30日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

善の経営は日本的経営の本質である。それらは働くことへの美徳とともに企業を得ることであり、今日のシステムや技術の進歩とともに企業が新たなステージへ進むことを与えるのである。

これらが技術と企業システムの進歩、時代性における高い生産性と効率性への転換を得るとき、これら企業倫理性とその企業サイクルが生み出す優れた現実は一瞬にその飛躍を与えるものである。

これらはグローバリズムにおけるマネーゲームとは一線を画するものであるが、今日の企業システムの向上が与える高い利益性は、これらグローバルスタンダードにおける基準における企業の確立を与えるものである。

これら企業の正しいサイクルが正しい結果と未来を可能とできるものである。

これらは強制や脅迫といった現実を排除し、高い社員意識における可能性の実現などにおけるその意欲の創造を与えるものである。

またこれら現実において経営者は、社員の模範とした自己を行い、その行動が社員のモチベーションを創造できるのである。

これらが企業における正のサイクルであり、他方においては負のサイクルがあるのである。

これら企業が高い企業倫理性を抱くことは、勤労性とともに、企業の優れた企業ルールを形成するものである。

これらが製品と価格、品質などへの優れた企業判断と基準を求める。企業努力という高い倫理的な自己は、すべての向上を常在とするのである。

これらが社会との共生などにおいて、社員に対する最も優れた待遇を与えることなどは、企業の理想であり、それらが企業の健全性を与えるのである。